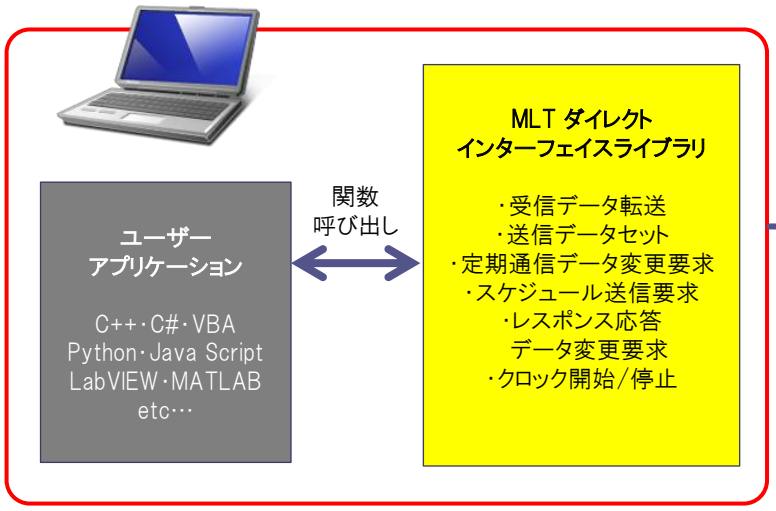
MLT ダイレクトインターフェイスライブラリ

販売価格　1,173,000円

MLT Advanceを直接制御するためのインターフェイスライブラリ

■システム構成



・C++ ・C# ・VBA ・Python・Java Scriptのサンプル付
・ログ保存の他、イベント定期送信ファイル設定や
プログラム送信設定も操作可能
・エラー送信機能にも順次対応予定

■環境

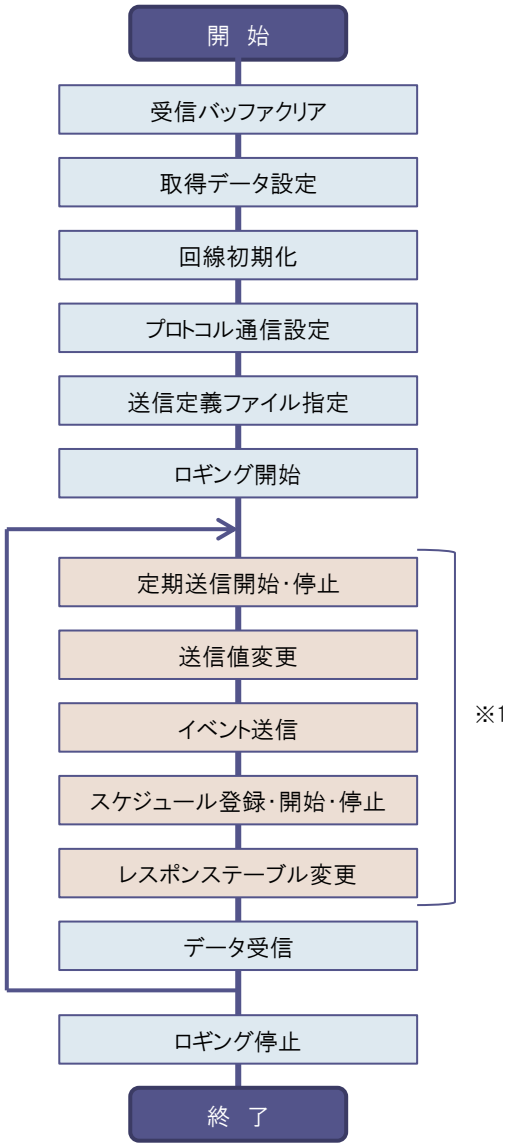
対応OS	Windows11 Pro 64bit
対応ハード	MLT Advance
対応回線	CAN FD/CAN, LIN, CXPI, IE Bus, SPI, I2C, UART, ポート入出力, トリガ出力、アナログ入力 等
動作環境	Microsoft Visual Studio 2022以上 Microsoft Office(64bit) 2021以上
付属サンプル	C##, C++, Python, VBA, JavaScript

※　ダイレクトインターフェイスライブラリは64biライブラリとなります。
32bitライブラリもございますがWindows10までの対応となります。
詳しくはお問合せください。

■ライセンスポリシー

本ソフトウェアは御購入管理者1名様に限定してサポートを行います。
管理者様が管理される弊社製品に対し複数台御使用いただいても
問題ございません。
また、インストールするPCの台数にも制限はございません。
本ソフトウェアを貴社製品に対して組み込んだ上で、
貴社製品を貴社の顧客へ販売することを許諾します。
但し、本ライブラリの仕様の展開は出来ません。
ライブラリの仕様展開が必要な場合は
ご提供先にて別途ライセンス購入いただきます様お願い致します。

■使用手順例



※1：使用するプロトコルによって異なります。

■お問い合わせ
株式会社プリズム　〒446-0073　愛知県安城市篠目町1-11-15
担当：杉浦 久美子　sugiura@prism-arts.co.jp　TEL：0566-74-4441
https://www.prism-arts.co.jp/

PRISM

■関数一例

回線	関数名	用途	使用タイミング	
			開始前	実行中
共通	trsMltStart	ロギング開始/停止	○	○
	getMltRcvBufCnt	受信バッファカウントを取得	―	○
	getMltRcvData	受信データの取得	―	○
	setMltSndData	送信データのセット(バイナリ)	―	○
	setMltSndCmd setMltSndCmdA	送信データのセット(文字列) 文字列(UniCode/MultiByte)	―	○
	setMltConfig setMltConfigA	回線初期設定(文字列) 文字列(UniCode/MultiByte)	○	―
	setMltEvtFile setMltEvtFileA	イベント・定期送信定義ファイル指定 文字列(UniCode/MultiByte)	○	―
	setMltRspFile setMltRspFileA	応答送信定義ファイル指定 文字列(UniCode/MultiByte)	○	―
	setMltPrgFile setMltPrgFileA	プログラム送信定義ファイル指定 文字列(UniCode/MultiByte)	○	―
	setMltLogFile setMltLogFileA	ログファイル指定 文字列(UniCode/MultiByte)	○	―
	setMltPrgAllChannelConf	プログラム送信全チャネル同期設定	○	○
	setMltPrgMode	プログラム送信　開始、停止指示	―	○
	clrMltBuff	受信バッファをクリア	―	○
	getMltFrameStr	受信データの文字列変換	―	○
	setMltInitConfig	回線初期化設定をすべて初期値に設定	○	―
	setMltRcvMask	装置からの受信データを選定	○	―
	setMltTrigConf setMltTrigConfA	トリガ設定	○	―
	setMltAnalogInConf	アナログ入力設定	○	―
	setMltPortOut	ポート出力	―	○
	setMltPortOutEx	ポート出力(拡張機能)	―	○
	setMltStartBuff	バッファリング開始/停止	○	○
	setMltPulsPwmConf	パルス/PWM出力モード設定	○	―
	setMltPulsOut	パルス出力の実行	―	○
	setMltPwmOut	PWM出力の実行	―	○
	setMltPeriodicAllChannelConf	イベント定期送信全チャネル同期設定	○	―
CAN	setMltCanConfBrt	CANビットレート 設定	○	―
	setMltCanConfBrtEx	CAN-FDビットレート 設定	○	―
	setMltCanPeriodicFrame	CAN定期送信登録	○	○
	setMltCanStartPeriodicFrame	CAN定期送信開始・停止	―	○
	setMltCanAllStartPeriodicFrame	登録済みCAN定期送信をすべて開始	―	○
	setMltCanChangePeriodicFrame	該当CAN-IDのフレームを編集	―	○
	setMltCanRemovePeriodicFrame	該当CAN-IDのフレーム削除	○	○
	setMltCanIncField	CANインクリメントフィールド設定	○	○
	setMltCanChkSum	CANフェール検出カウンタ&チェックサム設定	○	○
LIN	setMltLinConfBrt	LINビットレート 設定	○	―
	setMltLinConfSynch	LIN SynchBreakビット設定	○	―
	setMltLinConfIDTable	LIN IDテーブル設定	○	―
	setMltLinWakeup	LINウェークアップ実行	―	○
	setMltLinSetResponceFrame	LINレスポンスフレーム設定	―	○
	setMltLinScheduleTable	LINスケジュール登録(マスタのみ)	―	○
	setMltLinStartSchedule	LINスケジュール開始停止(マスタのみ)	―	○
CXPI	setMltCxpiConfBrt	CXPIビットレート設定	○	―
	setMltCxpiScheduleTable	CXPIスケジュールテーブル設定(マスタのみ)	―	○
	setMltCxpiResponseFrame	CXPIレスポンスフレーム設定	―	○
	setMltCxpiCtCheck	CXPIカウンターチェック設定	―	○
	setMltCxpiRetryCount	CXPI再試行回数設定	―	○
	setMltCxpiClockCtrl	CXPIクロック制御設定(マスタのみ)	―	○
	setMltCxpiStartSchedule	CXPIスケジュール開始停止(マスタのみ)	―	○
	setMltCxpiWakeup	CXPIウェイクアップ実行	―	○
	setMltCxpiSleep	CXPIスリープ実行	―	○

■お問い合わせ
株式会社プリズム　〒446-0073　愛知県安城市篠目町1-11-15
担当:杉浦 久美子　sugiura@prism-arts.co.jp　TEL:0566-74-4441
https://www.prism-arts.co.jp/